

特253

521

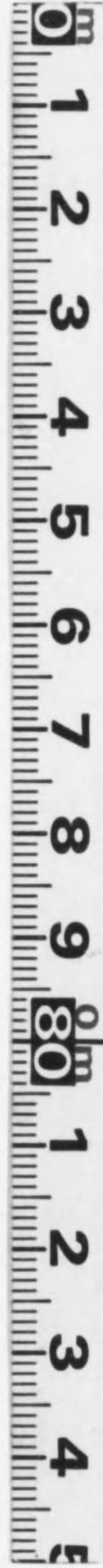
昭和十三年

自四月十日  
至四月廿五日

谷  
文晁遺作展覽會目錄

附  
小  
傳

恩賜京都博物館



始



特 253  
521



昭和十三年 自四月十日  
至四月廿五日

谷晁遺作展覽會目錄

附 小 傳

發行所寄贈本



恩賜京都博物館



京都府立総合資料館

凡 例

- 一、本展覧會に於ては、谷文晁の遺作並に關係資料百四拾點を蒐集した。
- 一、遺作は、成るべく製作年代順に配列せんとしたが、諸種の關係上必ずしも嚴密を期し難かつた。
- 一、蒐集品の一部は陳列替を行ふこととする。

以上

昭和十三年四月

恩賜京都博物館

谷文晁は、名は正安、通稱文五郎、文晁はその字、號であるが、初め文朝或は師陵と號した。一如居士、畫學齋、無二庵、蜚叟、寫山樓、文阿彌等はその別號である。

寶曆十三年九月九日江戸下谷根岸に生れた。父は田安德川家に仕へ、麓谷と號して當時詩人として名を知られてゐた。文晁、幼より繪事にすぐれ、少時狩野派の畫家加藤文麗に就いて學んだが、のち渡邊玄對に隨つて南畫の法を問ひ、また北畫の影響を北山寒巖より受け、直接宋元以降の支那諸名蹟にも接して研鑽した。而かもその旺盛なる研究心は、更に彼をして大和繪、洋風畫にも深き關心をもたしめ、この方面の畫蹟の研究も怠らなかつた。世上彼には南北合體派の稱が與へられてゐるが、その研究はかくも廣範圍に亙つてゐるのである。

天明八年二十六歳にして田安德川家の奥詰見習となり、祿五人俵を受くるに至つたが、幸ひにもまた松平定信(樂翁)侯の寵遇を得て畫道精進の上に大に便益を蒙るに及んだ。文晁は生來編旅を好み、或は公命により、或は私的に、諸方を遊歴して山水自然に接し、その畫囊を肥したが、傍ら古社寺、蒐藏家の門を叩いて秘藏の什寶を閲覽し、丹念に縮圖、模寫等を試みて研究の資料となした。彼の遺品として著名な公餘探勝圖卷は、寛政五年三十一歳の時、定信侯に隨從して伊豆、相模地方を巡行せし折の寫生圖であるが、その正確緻密な描寫は彼の眞摯な態度を如實に物語つてゐる。ま

た彼が後年同じく定信侯の命によつて完成せし石山寺緣起圖卷の如きも、多年精勵の賜に外ならぬ。

文晁の天下に漸く名を成すや、門下に參集する者日に多く、その間幾多の英才を輩出せしめるに至つたが、主なる門下生には渡邊畢山、高久瀧崖、立原杏所、春木南湖、金子金陵、鍋木雲潭、大西圭齋、喜多武清、佐竹永海等があり、田能村竹田の如きも嘗てその門を叩いたことがあるのである。竹田は、後年その著「竹田莊師友畫錄」の中に於て文晁に就いて、

資性爽快、度量宏闊、瀟灑調戲、一座風生、其畫斟酌宋人畫院諸子、自作一家、人物山水花卉翎毛、莫所不善、用筆雄渾、施墨淋漓、大幅長卷、蒼老沈鬱、觀者悚然感服、近日海內稱善手者亡慮數十家、而罕復出其右矣、云々

と述べてゐる。而して文晁と親交ありし學者、文人には知名の士多く、主なる人々に木村兼葭堂、柴野栗山、龜田鵬齋、大窪詩佛、菊地五山、市川米庵、雲室上人、廣瀬臺山、太田南畝等がある。

かくて文晁は、文化、文政を中心とする江戸畫壇に於て鬱然たる巨匠としてその聲譽甚だ高かつたが、天保十一年十二月十四日に死歿した。享年七十八歳。遺骸は江戸淺草源空寺に葬り、法名を本立院生譽一如法眼文阿彌居士と言ふ。

文晁には、その生涯に於て編纂せし圖録、著書並に模刻上梓せし書籍が多く、畫業以外に大なる功績を遺したが、書畫甲觀、歴代名公畫譜、日本名山圖會、本朝畫纂、松島眞景圖、畫學大全、寫

山樓畫本等は世に知られ、かの定信侯の集古十種の上梓に關し文晁の力の與つて大なるものゝあつたことも人の能く知る所である。

文晁には弟に元旦、妹に舜英、紅藍の二人あり、みな丹青の道を能くしたが、妻幹々また畫技に長じた。養子文一家業を繼いだが、文政元年夭折した。妻幹々また文晁に先んじて寛政十一年に死歿したので、後妻阿佐子を娶つた。阿佐子との間に數子あり、いま文晁の系圖を示せば左の如し。



—終—

一 明光古座兩浦眞景圖

絹本着色 款 谷文晁畫

双幅 和歌山市 田村新兵衛氏藏

二 枝頭小禽圖

紙本着色 款 山東谷文晁

一幅 京都市 荻生規矩夫氏藏

三 連山一望松圖

紙本着色 款 寛政辛亥夏日倣郭河陽筆 文晁 贊 柴野栗山

一幅 大阪市 池戸宗三郎氏藏

四 滿眼烟霞帖

絹本着色 款 寛政辛亥桂月寫於寫山樓 文晁

一帖 東京市 成瀬 澄氏藏

五 孔雀圖

絹本着色 款 壬子二月筆 文晁

一幅 京都市 奥村 家藏

六 文昌眞君圖

紙本着色 款 寛政四年十一月 谷文晁造

一幅 東京市 平尾 贊 平氏藏

七 公餘探勝

紙本着色

款 寛政五年四月豆州相州海濱御巡見時依寫之 谷文晁

二卷 東京市 子爵松平定晴氏藏

八 寒林晚歸圖

絹本着色

款 癸丑仲冬寫於寫山樓中 文晁

一幅 帝室博物館藏

九 山水圖

絹本着色

款 甲寅夏日寫於寫山樓 文晁

一幅 東京市 根津嘉一郎氏藏

一〇 莊子圖

紙本着色

款 文晁

一幅 東京市 岡崎正也氏藏

一一 鳩圖

絹本着色

款 文晁

一幅 東京美術學校藏

一二 蘇東坡像

絹本着色

款 丙辰初夏江戶文晁寫

一幅 大阪市 清海復三郎氏藏

一三 閻魔王圖

一幅 大阪市 清海復三郎氏藏

紙本淡彩

款 丙辰春日應需 文晁畫

一四 呂洞賓圖

紙本水墨

款 丙辰春日寫 文晁

一幅 京都市 加藤修氏藏

一五 谿山靜處圖

紙本淡彩

款 丙辰仲春於寫山樓中 文晁

一幅 東京市 渡邊善十郎氏藏

一六 畫帖

紙本淡彩

「丙辰桂月寫 文晁」等の款あり

一帖 東京市 藤田謹也氏藏

一七 秋景山水圖

絹本着色

款 文晁

一幅 東京市 外山知三氏藏

一八 相州名所畫冊

絹本着色

「江嶋洞口望西圖丁巳夏五廿九日到此 谷文晁」等の款あり

一帖 東京市 岡崎正也氏藏

一九 鍾馗圖

布地水墨

一幅 東京市 木山豐實氏藏

三九 仙 圖 款 文晁

紙本淡彩

款 寬政戊午二月爲 郭洲禪師 谷文晁作此

三 戶 山 莊 圖

紙本水墨

寬政十年七月五日 谷文晁記

三 秋 林 山 水 圖

絹本着色

款 己未十月六日畫於寫山樓 文晁

三 松 下 觀 瀑 圖

紙本着色

款 谷文晁

三 高 土 聽 流 圖

紙本着色

款 文晁

三 常 州 袋 田 勝 景 圖

絹本着色

一帖 東京市外山知三氏藏

二卷 東京市長谷川起夫氏藏

一幅 東京美術學校藏

一幅 新潟縣中野忠太郎氏藏

一幅 滋賀縣柴田源七氏藏

一卷 京都市富岡益太郎氏藏

三 花 鳥 圖

紙本着色

三 柿 本 人 丸 像

絹本着色

款 文晁

贊 五山仙史

三 花 卉 冊

紙本水墨

三 釋 迦 像

絹本着色

三 松 澗 觀 瀑 圖

絹本着色

款 享和紀元辛酉桂月寫 文晁

三 湖 邊 春 色 圖

絹本着色

款 辛酉抄冬寫 文晁

三 王 蒙 山 水 圖 模 寫

紙本淡彩

款 享和二年二月十二日摹申起筆戊戌 文晁記

一幅 神戸市池長 孟氏藏

一幅 府立大阪博物場藏

一帖 京都市荻生規矩夫氏藏

一幅 東京市源空寺藏

一幅 大阪市池戶宗三郎氏藏

一幅 京都市杳水文一郎氏藏

一卷 東京市石井柏亭氏藏

三 柳塘山水圖

絹本着色  
款 壬戌春晚寫於水雲書屋 文晁

一幅 滋賀縣 西村重郎兵衛氏藏

四 木村藤葭堂像

絹本着色  
款 享祿二年三月廿五日 社弟文晁楮首拜寫

一幅 府立大阪博物館藏

五 米法山水圖

紙本水墨  
款 文晁

一幅 東京市 佐竹光子氏藏

六 日金絶頂眞景圖

絹本着色  
款 文晁

一幅 東京市 中條國男氏藏

七 杜子美像

紙本着色  
贊 柴野栗山  
贊 十時梅崖

一幅 大阪市 清海復三郎氏藏

八 習畫々帖

紙本水墨  
款 享祿二年壬戌九月九日寫爲二葉膠山 文晁

一帖 富山市 松井伊兵衛氏藏

九 石山寺緣起稿本

一卷 紙本着色 一卷 紙本水墨  
款 (水墨卷)文化元年甲子正月元日創業同二年十二月十八日成

二卷 帝室博物館藏

〇 國寶石山寺緣起

紙本着色  
奥に文化二年十二月二十三日の松平定信の記文あり

二卷 滋賀縣 石山寺藏

一 喬木竹石圖

紙本水墨  
款 文晁  
贊 麓谷

一幅 東京市 石井柏亭氏藏

二 軍鶏圖

紙本着色  
款 文化五年戊辰三月文晁畫記

一幅 京都市 伯爵大谷光照氏藏

三 美人假睡圖

絹本着色  
款 戊辰夏月寫 文晁

一幅 東京市 子爵牧野一成氏藏

四 富嶽圖

紙本水墨  
款 庚午夏五念五積雨新晴對景寫此文晁

一幅 大阪市 清海復三郎氏藏



望 觀 瀑 圖

紙本水墨

款 海鯉先生雲山卷中意擬於寫山樓南窻下時庚午十一月至日也

文晁

一幅 東京市 大隈 信 常氏藏

吳 老子騎牛圖

紙本水墨

文晁文一合筆

款 辛未夏日文晁寫及び作牛者文一

贊 市河寬齋及市河米荈

一幅 富山市 松井伊兵衛氏藏

望 富 嶽 圖

絹本着色

款 文化壬申冬十一月 文晁畫

一幅 東京市 長谷川 趙夫氏藏

吳 松竹梅山水圖

絹本着色

款 松 做 劉年筆意 文晁

竹 做 檀芝瑞筆 文晁

梅 做 吳鎮筆意 文晁

三幅 東京市 子爵牧野一成氏藏

吳 飲中八仙圖

紙本淡彩

款 文晁

一卷 東京市 八木岡春山氏藏

吾 山 水 圖

絹本着色

款 癸酉春月寫似吉野子欽老詞宗教燦 文晁

一幅 大阪市 八田兵次郎氏藏

吾 花 鳥 圖

絹本着色

款 癸酉仲春 文晁寫

一幅 東京市 大橋新太郎氏藏

吾 武陵桃源圖

絹本着色

款 文晁

贊 柴野栗山

一幅 四日市市 九鬼健一郎氏藏

吾 山 水 圖

絹本淡彩

款 做倪雲林筆寫于蕉雨山房

時 甲戌南至日也 文晁

一幅 東京市 根津嘉一郎氏藏

吾 壽老飛鶴圖

絹本着色

款 中 文化甲戌夏月文晁繪 左右 文晁

三幅 東京市 子爵牧野一成氏藏

吾 鴻臺眞景圖

紙本淡彩

一幅 東京市 相見香雨氏藏

美老子 圖  
款 甲戌十月望爲月堂詞宗 文晁寫  
贊 諸家筆  
絹本着色

一幅 京都市 藤井乙男氏藏

毛春秋花鳥圖  
款 文晁  
贊 林禪雨  
絹本着色

雙幅 京都市 遠山元一氏藏

天前後赤壁圖  
款 文晁筆  
贊 樂翁  
紙本着色

六曲屏 一 雙 京都市 根津嘉一郎氏藏

无彦山眞景圖  
款 文晁  
紙本水墨

一幅 帝室博物館藏

空山水圖  
款 丁丑九月寫 文晁  
紙本水墨

一幅 富山市 松井伊兵衛氏藏

款 文化乙亥夏六月應松平山需豐前州彦山圖 文晁寫

空歸去來圖  
款 文晁  
絹本着色

一幅 京都市 伯爵室町公藤氏藏

空夏冬山水圖  
款 夏圖 做劉松年筆意 文晁  
冬圖 做郭河陽筆 文晁  
絹本着色

雙幅 京都市 岡崎正也氏藏

空月下鹿圖  
款 文晁筆  
絹本着色

一幅 大坂市 清海復三郎氏藏

空甘草圖  
款 文晁  
紙本着色

一幅 大坂市 清海復三郎氏藏

空翡翠圖  
款 文晁  
絹本淡彩

一幅 松坂市 小津茂郎氏藏

空花鳥圖  
款 文晁  
贊 龜田鵬齋

一幅 鳥根縣 絲原武太郎氏藏

卷梅  
絹本着色  
款 文晁筆  
圖

一幅 明石市 松村吉兵衛氏藏

六 桃花錦鷄鳥圖

絹本着色  
款 文晁

一幅 大阪市 男爵鴻池善右衛門氏藏

充 雪中枯木鵲圖

絹本着色  
款 文晁寫

一幅 兵庫縣 小網與八郎氏藏

吉 富嶽圖

紙本淡彩  
款 文晁

一幅 大阪市 山本發次郎氏藏

三 旭日老松圖

絹本着色  
款 文晁筆

一幅 大阪市 田中宗一氏藏

三 蓬萊山圖

一幅 京都市 池坊專啓氏藏

三 竹圖

絹本着色  
款 文晁

一幅 京都市 竹松民次郎氏藏

齒 紫式部圖

絹本着色  
款 文晁  
贊 龜田鵬齋

一幅 京都市 藤田謹也氏藏

壹 蘇東坡像

絹本着色  
款 文晁

一幅 京都市 荻生規矩夫氏藏

矣 白猿群猴圖

絹本着色  
款 文晁畫

一幅 京都市 子爵松平定晴氏藏

七 烟波海鷗圖

絹本淡彩  
款 文晁

一幅 京都市 平尾贊平氏藏

八 西園雅集圖

一幅 新潟縣 中野忠太郎氏藏

絹本着色

款 文政三年庚辰九月寫 文晁

充不動尊像

紙本水墨

款 文政四年辛巳四月廿五日 文晁謹寫

八〇 秋溪閑居圖

絹本着色

款 辛巳仲冬寫于樂山堂中 文晁

贊 龜田鵬齋

八二 桃壽帶鳥圖

絹本着色

款 文晁

八三 蝙蝠圖

紙本水墨

款 文晁

八四 月下秋草圖

絹本着色

款 文晁

八四 狸和尚圖

一幅 東京市眞盛寺藏

一幅 東京市菊本直次郎氏藏

一幅 東京市濱野茂氏藏

一幅 東京市佐竹光子氏藏

一幅 東京市佐竹光子氏藏

一幅 東京市相見香雨氏藏

紙本水墨

款 文晁

自贊 文政五年五月廿一日なかき世を云々 文晁

八五 鍾馗圖

紙本淡彩

款 文政五年壬午十月望日 文晁畫

八六 千岩門圖

絹本着色

款 文政壬午六月朔日 文晁寫

八七 牡丹孔雀圖

絹本着色

款 文晁

八八 觀瀑圖

絹本淡彩

款 文晁筆

八九 青綠山水圖

絹本着色

款 文晁

九〇 竹圖

一幅 鳥根縣絲原武太郎氏藏

一幅 京都市池坊專啓氏藏

双幅 東京市菊本直次郎氏藏

一幅 滋賀縣柴田源七氏藏

一幅 兵庫縣藤木正一氏藏

一幅 東京市佐竹光子氏藏

紙本水墨  
款 乙酉夏日寫于□軒 文晁

九 風雨渡江圖

一幅 東京市 子爵牧野一成氏藏

紙本淡彩

款 文政乙酉八月望前二日寫于畫學齋中 文晁

三 梅

一幅 奈良市 龜田 孜氏藏

絹本水墨

款 文政己丑二月初一寫爲淺野君六十榮壽六十七翁 文晁

三 牧

一幅 京都市 荻生規矩夫氏藏

絹本着色

款 文晁畫

四 花

二曲屏 一隻 東京市 岡田菊次郎氏藏

紙本着色

款 文晁筆

五 團扇

小屏風 一隻 東京市 原 邦 造氏藏

銀地着色

款 文晁

六 前後赤壁圖

雙幅 兵庫縣 藤木正一氏藏

絹本着色

款 文晁

七 秋渚遊禽圖

一幅 東京市 子爵牧野一成氏藏

絹本着色

款 文晁

六 枯木寒鴉圖

一幅 山形縣 阿部 孫 七氏藏

紙本淡彩

款 文晁

九 柳桃飛燕圖

一幅 滋賀縣 西村重郎兵衛氏藏

絹本着色

款 文晁

一〇〇 二見ヶ浦圖

一幅 大阪府 八田兵次郎氏藏

絹本着色

款 文晁筆

一〇一 風竹

一幅 明石市 米澤吉次郎氏藏

紙本水墨

款 文晁寫

一〇二 富嶽

一幅 明石市 松村吉兵衛氏藏

紙本水墨

款 文晁

一〇三 龍 贊 蜀山人 虎 圖 兵庫縣 山本發次郎氏藏

一〇四 鯉 紙本淡彩 圖 兵庫縣 藤木正一氏藏

一〇五 瀑 款 天保三年四月十七日寫生 文晁 布 圖 大阪府 八田兵次郎氏藏

一〇六 竹 紙本水墨 圖 款 甲午初夏寫 文晁 東京市 外山知三氏藏

一〇七 山 水 圖 款 丙申夏日寫於寫山樓 文晁 兵庫縣 小網與八郎氏藏

一〇八 豬 絹本水墨 圖 款 丁酉九月念七 七十五翁文晁 大阪府 清海復三郎氏藏

一〇九 瀑 紙本水墨 圖 款 天保九年戊戌十月七日己亥 文晁筆 大阪府 清海復三郎氏藏

一一〇 林 述齋像 絹本着色 無款 傳 文晁筆 東京市 林 嘩氏藏

一一一 縮 圖 東京市 加賀豐三郎氏藏

一一二 縮 圖 東京市 加賀豐三郎氏藏

一一三 畫學齋圖稿 東京市 美術學校藏

一一四 過眼圖彙 京都市 富岡益太郎氏藏

一一五 展觀目錄 東京市 相見香雨氏藏

一一六 古畫類聚續集 東京市 益田孝氏藏

一一七 大臣圖卷 紙本水墨 東京市 相見香雨氏藏

卷末二夫々  
一、寬政十年七月十三日自午至亥寫畢 文晁  
一、寬政十年七月十六日自下午至上亥而卒業畢 文晁

- 一六 撫古山水冊
- 一七 聖賢畫像纂
- 一八 畫學大全
- 一九 畫學大全
- 二〇 歷代名公畫譜 版 本
- 二一 歷代名公畫譜 版 本
- 二二 松島眞景圖 木 版
- 二三 漂客奇勝圖 版 本  
天明丁未春新鐫
- 二四 書畫甲觀 版 本  
跋款 寛政二年庚戌二月二日 文晁識  
 寛政二年秋雁金屋清吉版
- 二五 凌烟功臣畫像 版 本  
跋款 文化甲子二月 文晁識
- 二六 名山圖譜 版 本  
自序款 文化元年九月刻成 文晁識
- 一帖 東京市石井柏亭氏藏
- 二冊 東 美 術 學 校 藏
- 三冊合本 帝 國 圖 書 館 藏
- 七冊 京都市富岡益太郎氏藏
- 四冊 京都市相見香雨氏藏
- 四冊 京都市人見少華氏藏
- 一帖 京都市人見少華氏藏
- 一冊 東京市相見香雨氏藏
- 一冊 東京市相見香雨氏藏
- 一冊 東京市相見香雨氏藏
- 三冊 東京市相見香雨氏藏

但し同四年の増補あり

- 二九 歷朝名公款譜 版 本  
扉題 榮堂先生篆刻寫山先生鑑定 文化五年佐藤一齋の序あり
- 三〇 寫山樓畫本 版 本  
文化八年文晁自跋 文化十四年五月和泉屋庄次郎版
- 三一 本朝畫纂 版 本
- 三二 畫學叢書 版 本
- 三三 本朝畫纂 版 本
- 三四 寫山樓印譜  
中田榮堂刻
- 三五 文晁書簡 一 卷  
遠阪文雅筆
- 三六 谷文晁像 一 幅  
絹本着色
- 三七 文晁夫妻影像 一 幅  
紙本水墨
- 三冊 東京市相見香雨氏藏
- 一冊 東京市相見香雨氏藏
- 一冊 東京市相見香雨氏藏
- 一冊 東京市相見香雨氏藏
- 三冊 京都市人見少華氏藏
- 一冊 東京市相見香雨氏藏
- 一冊 東京市藤田謹也氏藏
- 一冊 東京市本山豐實氏藏
- 雙幅 東京市下村英時氏藏

一三 文晁影像并和歌書

紙本水墨  
款 乙未桂月初九 文晁記

追加

一三 高士聽泉圖

紙本淡彩  
款 山東谷師陵寫

一四 菓物圖

抱一、文晁合筆  
款 文晁  
贊 龜田鵬齋

三幅 東京市長谷川越夫氏藏

三二

一幅 京都市森本東閣氏藏

一幅 京都市高谷宗賢氏藏



終

5  
3